

# SRR「」N/SSS「」Nシリーズ 施工手順書

## ◆安全に関する重要な内容です。




施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

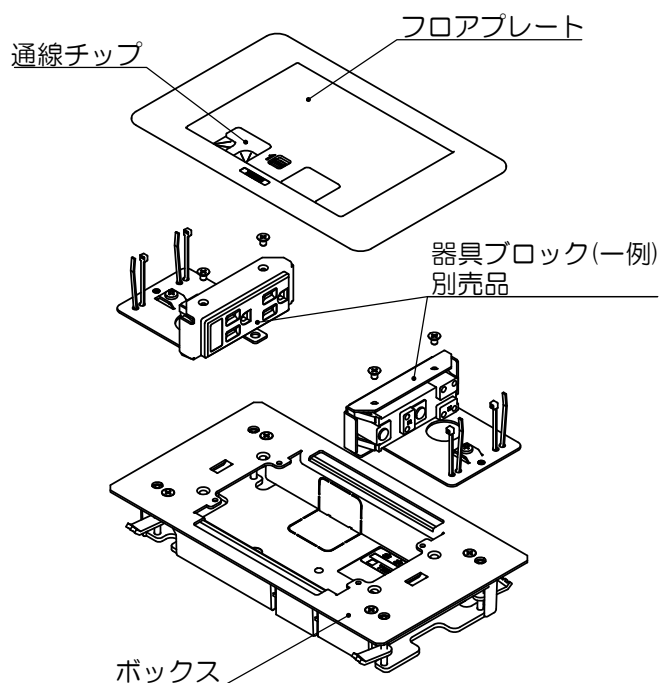
注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。</li> <li>◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。</li> <li>◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。</li> <li>◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。</li> </ul>

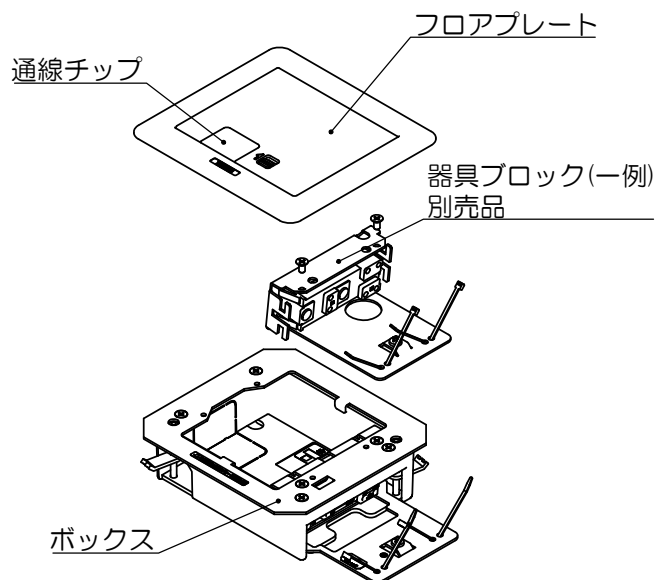
 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。</li> <li>◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。</li> <li>◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。</li> <li>◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。</li> </ul>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。</li> <li>◆床に堅固に取付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。</li> </ul>

## ◆部品構成と名称

### SRR「」Nシリーズ



### SSS「」Nシリーズ



### 添付品



プレート固定用サラネジ  
M4×9 4本

添付場所：ボックス天板裏面

### 添付品



プレート固定用サラネジ  
M4×9 4本

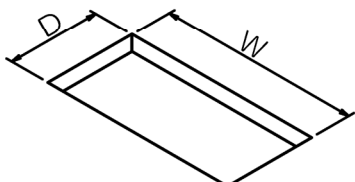
添付場所：フロアプレート裏面

# 施工方法

## 1 開口寸法の確認

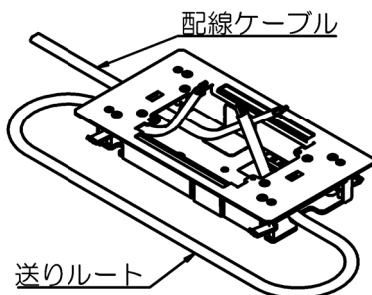
フロアパネルの開口寸法を確認してください。

- SRRシリーズ  
(D) 110±2 × (W) 235<sup>+1</sup><sub>-3</sub>
- SSSシリーズ  
(D) 110±2 × (W) 140<sup>+2</sup><sub>-2</sub>



## 2 ケーブルの引き込み

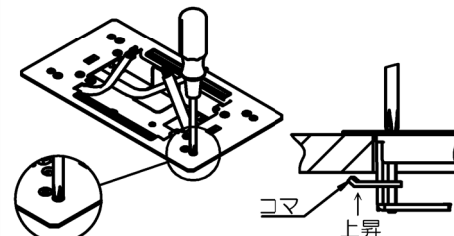
フロアパネルの開口部にボックスを入れ、ボックス内にケーブルを引き入れてください。  
(送りのルートもここで形成します)



## 3 ボックスの固定

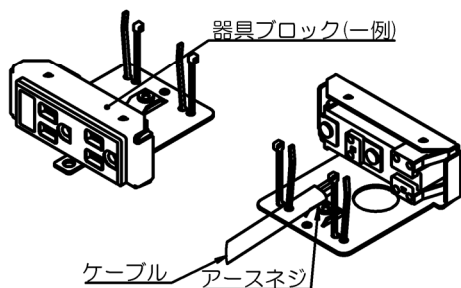
ボックス固定ネジを回す事により、コマを上昇させ、ボックスをフロアパネルに固定します。

(SRR : 4箇所 / SSS : 2箇所)  
SRRシリーズ対応パネル厚 : 2.5mm~26mm  
SSSシリーズ対応パネル厚 : 2.5mm~29mm  
※フロアパネルの配線スペースにリブ等が突出している場合がありますので、ご注意ください。



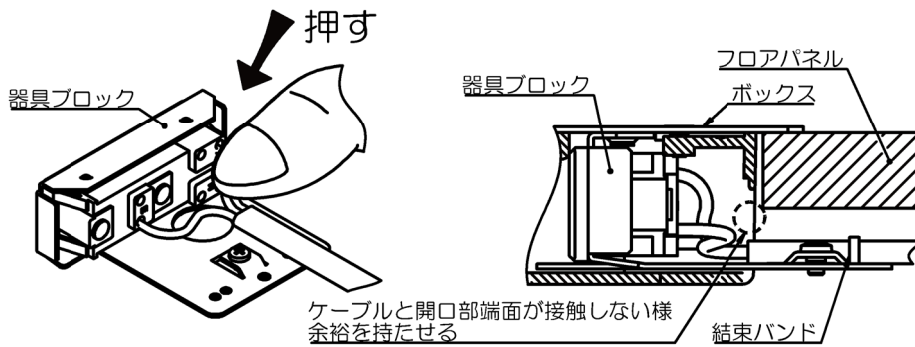
## 4 器具ブロックの結線

ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具に接続してください。  
配線方法については各器具の配線方法に従ってください。  
強電系器具ブロックにはアースネジを設けてあります。  
必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。



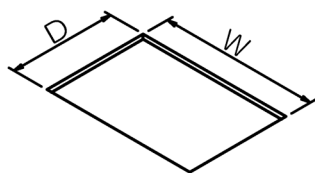
## 5 器具ブロックの取り付けに関する注意事項

開口部端面にケーブルが接触しない様、ケーブルを曲げてください。  
その後、結束バンドでケーブルを保持し器具ブロックをボックスに固定してください。  
器具ブロックをボックスに収める際に引っかかりを感じたら無理に押し込む事はしないでください。ケーブルの断線、地絡の原因になります。  
開口部端面の処理(バリ取り、絶縁テープ貼付等)を適切に行なってください。  
弊社ではフロアパネルへの新規開口は推奨しておりません。



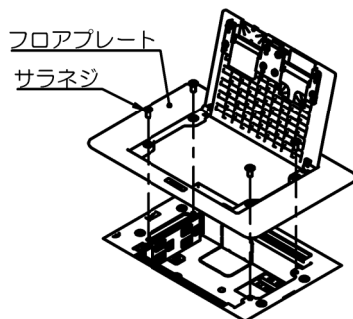
## 6 床仕上材の開口寸法

- SRRシリーズ  
(D) 126±2 × (W) 187±3
- SSSシリーズ  
(D) 120±2 × (W) 136±2



## 7 プレートの固定

床仕上材を貼り付けた後、フロアプレートを添付のサラネジ4本で固定してください。



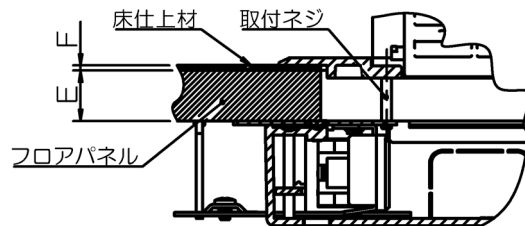
## ※床仕上材が5mm以下の場合

フロアプレートとボックスでフロアパネルを挟み込み固定します。  
※フロアパネルや床仕上材の環境によっては取り付けできない場合もあります。

フロアパネルと床仕上材の開口寸法は項目6を参照願います。

この方法で固定する場合、別途長いネジをご用意ください。  
ネジ長さは下記の計算式で計算し選定してください。

ネジ長さ(L<sub>ネジ</sub>) = (パネル厚(E) + 床仕上材の厚さ(F)) + 3  
(例) ネジ長さ(25) = (パネル厚(20) + 床仕上材の厚さ(2)) + 3



## ■ お問い合わせ先

# 株式会社TERADA

東日本 : 042-795-7648 / 西日本 : 06-6350-1361